

第5次下妻市総合計画 後期基本計画がスタートします

問い合わせ 市長公室 ☎内線1216

第5次下妻市 総合計画とは

平成20年度から平成29年度までの10か年を計画期間として策定され、3つの基本理念を「いつまでも住みやすく安全で快適なまちづくり」「豊かでかけがえのない自然と共生するまちづくり」「人を活かし大切に作るやさしさとふれあいのまちづくり」と定め、平成20年度から平成24年度までの5か年を前期基本計画として、各種施策に取り組んできました。今回の後期基本計画は、平成25年度から平成29年度までの5か年を期間として、激変する社会経済情勢、前期基本計画の施策達成度などを見直し、整合性や実行性を確保した計画を策定しました。

3 市民にとってわかりやすい計画づくり
市の現状と課題解決の方法を明確化するため、施策や事業の目標については可能な限り数値・具体化を図り、成果指標（目

2 市民の「参画と協働」に向けた計画策定
市民の「参画と協働」を重要な要素と捉え、市民意識調査やパブリックコメントを通して市民参画の推進に向けた機運を高め、協働意識の向上を推進する計画としました。

1 施策の「選択と集中」による計画策定
市を取り巻く社会経済情勢の変化や市民の生活実態、前期基本計画の施策の達成状況や課題を把握することにより見直しのポイントを整理し、幅広い行政分野で一定の政策水準を保ちながらも、後期の計画期間に集中して取り組むべき施策を盛り込んだ計画としました。

成果指標〔抜粋〕	※H24実績値		
	初年度(H19)	中間(H23)	目標(H29)
介護予防事業 介護予防事業への参加者を拡大し、介護予防を目指す	2,036人(一) 552人(二)	5,294人(一) 575人(二)	6,000人(一) 600人(二)
乳幼児健診・相談受診率 母子の健康づくりを促進するため受診率の向上を目指す	85.8%	89.4%	95.0%
自主防災組織加入世帯割合 地域の防災意識の高揚と防災力の強化を目指す	24.0%	31.0%	68.0%
公害(苦情)発件数 公害防止の取り組みにより公害苦情発件数の減少を目指す	95件	99件	90件
下妻駅の乗降客数 鉄道の利便性の向上と利用促進により乗降客数の拡大を目指す	557,015人	512,183人	570,000人
学校施設の耐震化率 学校施設の安全を図るため耐震化率向上を目指す	42.6%	77.8%	88.9%
スクールカウンセラーの配置 教育相談の一層の充実を図るため体制の整備を目指す	2人	2人	5人
工業団地への企業の立地面積 工業団地への企業立地により工業の振興を目指す	68.7ha	71.0ha	90.0ha
職員数 「定員適正化計画」に定めた職員数目標数値の達成を目指す	351人	320人	310人
経常収支比率 経常収支比率を低くし財政構造の弾力性を確保することを旨とする	96.1%	87.7%	85%以内

成果指標とは
施策の進捗状況を測るため、可能な限り目標の数値化・具体化を図ったもので、計画の進行管理

標準値を設定しました。年度間における達成状況を見ることで、施策や事業の進捗が市民にわかりやすい計画としました。
市ホームページで、第5次下妻市総合計画後期基本計画の詳細を見ることができ

等にも活用します。次の表では主なものを紹介しています。



筑波大学 生命環境系
教授 杉浦 則夫氏
下妻市環境基本計画策定委員会 顧問

下妻市環境基本計画の 発刊にあたって

内 外的環境問題の特徴を俯瞰的にみると、20世紀中葉に顕在化した人の健康に直接的な被害を及ぼす特定が明確ないわゆる公害から、21世紀前後に至っては、時間・空間的に長く広範囲で変化が緩慢な現象すなわち酸性雨、越境型水環境汚染、オゾン層破壊、地球温暖化などで代表されるように地球規模の拡大と人を含めた生物生態系への影響リスクは薄く不確実性で原因特定が困難な場合が多くなった。

これらの問題に対し、短期間に大量投資をして改善・対処する方法はないと言っても過言ではない。当然、全人類が人の幸福・繁栄とは何かを問う物質文明の必要性そして最終的には国からさらに地方、地域における個人々の、自然環境と人の「共存」についての抜本的な意識改革の必要性を共通に認識し、まず実行することが第一と考える。

そのためには地域社会の環境条件に当然、差こそあれ教育・啓蒙そして誘導が必要である。そして自治体、事業者、住民が協働で実行することを願ってやまない。

私たちが一人ひとりにできること

- **家では**
緑のカーテンや花植えなどの緑化活動に取り組みましょう。
● 騒音を控えたり、野外焼却はやめましょう。
● 特定外来生物の飼育はやめましょう。
● 「生ごみの堆肥化」市では補助制度を行っています。
● 「紙ごみは資源」牛乳パック、封筒など分けると資源になります。

- **買い物のときは**
● フリーマーケットなどを利用し、再利用(リユース)に取り組みましょう。
● 地元で取れた農作物を利用しましょう。
● 「選んで、環境ラベル」省エネやリサイクルを考えた商品と比較しよう。
- **出かけるときは**
● 徒歩、自転車、公共交通を利用しましょう。

環境負荷の低減に向け、ごみの減量やエネルギー使用量の低減など、基本的な項目を参考に、環境に配慮した行動に取り組みましょう。

- **地域では**
● 希少な動植物の採取・捕獲の防止、保護活動に協力しましょう。
● 景観保全に結びつく活動や取組に参加・協力しましょう。
- **オフィスでは**
● 通勤は公共交通機関を利用しましょう。
● 積極的に空調や照明を、省エネ機器に更新しましょう。
- **工場では**
● 事業所内の緑化や周辺の清掃を

- 地域の街並みや景観に興味・関心を持ちましょう。
● 「歩いてまちを感じよう」車では気づかなかった季節や隠れた名所に出会えるかも。
- **お店では**
● 施設整備や屋外広告は、地域の景観に配慮しましょう。
● 簡易包装の推進に努めましょう。
- **車を使うときは**
● 低公害自動車の購入や、エコドライブを実践しましょう。
● 近くの用事は、自転車を利用しましょう。
- **市ホームページで、下妻市環境基本計画の内容を見ることが出来ます。**